

単元 「F 武道(剣道)」

1 単元目標

- (1) 自己の能力に応じて次の技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。
 - ア 竹刀を使って相手と約束の部位を打突し合って競い合うという格技形式の運動の特性を理解し、基本動作や対人的技能を身に付け、得意技を生かした練習や試合ができるようにする。
 - イ 基本動作は、対人的技能との関連で取り扱うようにする。
 - ウ しかけ技と応じ技については、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合で生かせるようにする。 (技能の内容)
- (2) 伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、禁じ技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようにする。 (態度の内容)
- (3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。 (学び方の内容)

2 単元の評価規準

I 運動への関心・意欲・態度

武道の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるよう伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、進んで練習や試合に取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、禁じ技を用いないなど、安全に留意して練習や試合をしようとする。

- ① 自分の能力に応じた技を習得する喜びや、相手の動きや技に対応した攻防を展開して競い合う剣道の楽しさを味わおうとするとともに積極的に課題を解決しようとする。
- ② 練習や試合で、仲間と協力して教え合う中で自分の得意技を見つけ練習しようとする。
- ③ 練習や試合で、審判の判定や指示に従うとともに、勝敗や結果を受け入れたり課題を見つけ出そうとする。
- ④ 礼儀作法を重視し用具や服装、練習場などの安全を確かめたり、禁じ技を用いないなど、自他の安全に留意しようとする。

II 運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や試合の仕方を工夫している。

- ① 自己に合った技を選び、得意技として身に付けるための課題を設定し、課題解決に適した練習方法や学習の場を選択している。
- ② 試合で、自分や相手の能力、学習段階を把握して、使える技を選ぶとともに試合において自信を持って判定する。
- ③ 相手の動きや体勢等に応じて、有効な技や技をかける機会などを見つけている。
- ④ 課題の達成状況をとらえ、練習の仕方を見直したり、新しい課題を選んだりしている。

III 運動の技能

剣道の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。

- ① 練習する時に、身に付けた基本動作と対人的技能で攻撃したり、相手の技をかわしたりすることができる。
- ② 自分の能力に応じて、身に付けた得意技で練習や試合をすることができる。
- ③ 試合で、相手の動きや技に応じ、技をかける、防ぐ、返すなどを行うことができる。

IV 運動や安全についての知識・理解

剣道の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、試合や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。

- ① 剣道の伝統的な考え方、剣道の特性、技の系統性、基本動作や対人的技能の構造について知っている。
- ② 剣道の礼儀作法、ルール、審判方法について言ったり書き出したりしている。
- ③ 自分や相手の課題に合った練習や試合の仕方、練習計画の立て方、自分にあった試合の仕方について具体例を挙げている。
- ④ 剣道の礼儀作法と自他の安全確保について理解し、実践している。

3 評価規準例「武道(剣道)」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関心・意欲・態度	<p>①剣道に強い興味や関心を持ち相手と協力して、課題解決を図ろうとする。</p> <p>②自分に適した技を習得し、相手の動きや技に呼応した攻防を楽しもうとする。</p> <p>③練習や試合の成果を分析し、それを生かすなど、向上心を持って取組もうとする。</p> <p>④礼儀作法を重んじ相手を思いやるとともに、自己を律しようとする。</p>	<p>①剣道に興味や関心があり、積極的に課題を解決しようとする。</p> <p>②自分の得意技を発見し、相手とのかけひきの中で練習しようとする。</p> <p>③練習や試合の成果を参考に次の課題を見つけ出そうとする。</p> <p>④礼儀作法を重んじ安全に留意して練習しようとする。</p>	<p>①与えられた課題を解決しようとする。</p> <p>②得意技を練習しようとする。</p> <p>③練習や試合の結果から課題を見つけようとする。</p> <p>④剣道の礼儀や所作を理解しようとする。</p>
II 思考・判断	<p>①基本動作と対人的技能の関連が図れている。</p> <p>②試合において、技能に応じた判定基準を選択している。</p> <p>③相手の隙を見つけ、相手を崩す方法を発見している。</p> <p>④自己の課題解決に向け、工夫して練習している。</p>	<p>①基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。</p> <p>②試合において、自信を持って判定している。</p> <p>③相手の状況に応じて、効果的な打突をしている。</p> <p>④正確に打突するために、工夫して練習している。</p>	<p>①対人的技能について理解している。</p> <p>②試合においてルールや方法を理解し、判定して</p> <p>③相手の動きや技を予測しようとしている。</p> <p>④指示された内容について練習している。</p>
III 運動の技能	<p>①打突、足の引きつけ、発声のタイミングが合っており、力強い打突ができる。</p> <p>②自己の能力に適した技の中から、得意技を見つけ、積極的に練習を行いしかけることができる。</p> <p>③相手の状況に応じ、効果的な技を選択することができる。</p>	<p>①打突、体勢、発声のタイミングを合わせることができる。</p> <p>②自己の能力に適した技の中から、得意技を見つけ練習することができる。</p> <p>③相手の状況に応じて、効果的な対応ができる。</p>	<p>①打突部位を打つことができる。</p> <p>②得意技を選択し練習することができる。</p> <p>③相手の状況に応じて対応できる。</p>
IV 知識・理解	<p>①剣道の伝統的な考え方や特性、技の系統性、基本動作や対人的技能の構造を具体的に説明できる。</p> <p>②試合の運営方法や基本的な審判法について説明できる。</p> <p>③自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を説明できる。</p> <p>④礼儀作法や自他の安全について十分に理解しており、すすんで実践している。</p>	<p>①剣道の伝統的な考え方や特性、基本動作や対人的技能の構造を言ったり書いたりできる。</p> <p>②試合の運営方法や基本的な審判法について具体例を挙げている。</p> <p>③自分の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を言ったり書いたりしている。</p> <p>④礼儀作法や自他の安全について理解し、実践している。</p>	<p>①剣道の特性、基本動作や対人的技能などを知っている。</p> <p>②試合の運営方法や審判法を知っている。</p> <p>③自分の課題や練習方法を知っている。</p> <p>④礼儀作法や自他の安全について理解している。</p>

4 評価基準の評価観点例「武道(剣道)」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関心・意欲・態度	<p>①ア強い興味・関心をもって学習している。 イ相手と協力して、すすんで課題解決を図ろうとしている。</p> <p>②ア既習の技の中から自分に適した得意技を見つけている。 イ相手との攻防を楽しみながら得意技の練習をしている。</p> <p>③ア練習や試合の中から多くの新しい課題を発見している。</p> <p>④ア礼儀作法を重んじ相手を思いやるとともに練習場所の安全に気を配り確認している。 イ防具を素早く正確に装着している。 ウ練習前や練習中に竹刀の点検をしている。</p>	<p>①ア興味・関心をもって学習している。 イすすんで課題解決を図ろうとしている。</p> <p>②ア既習の技の中から得意技を見つけている。 イ相手とのかけひきの中で得意技の練習をしている。</p> <p>③ア練習や試合の中から新しい課題を発見している。</p> <p>④ア礼儀作法を重視し練習場所の安全に気を配っている。 イ防具を正しく装着している。 ウ練習前に竹刀の点検をしている。</p>	<p>①ア関心をもって学習している。 イ与えられた課題を解決しようとしている。</p> <p>②ア得意技を決めている。 イ得意技の練習をしている。</p> <p>③ア練習や試合を振り返り反省をしている。</p> <p>④ア礼儀作法を重視し安全に練習している。 イ防具を装着している。 ウ指示を受けて竹刀の点検をしている。</p>
II 思考・判断	<p>①ア基本動作が対人的技能に活用されている。</p> <p>②ア試合において大きな声できびきびと宣告している。 イ試合において自信ある態度でわかりやすく判定している。</p> <p>③ア相手の動きを確認し、かけひきをしながら打突している。 イ相手の打突を予測し、かけひきをしながら打突している。</p> <p>④アいろいろな竹刀の振り方の中から正しい方法を見つけ出している。 イ相手との間合いを工夫し、かけひきをしながら練習している。</p>	<p>①ア基本動作を確認しながら対人的技能の練習をしている。</p> <p>②ア試合において大きな声で宣告している。 イ試合において自信ある態度で判定している。</p> <p>③ア相手の動きを確認して打突している。 イ相手の打突を予測して打突している。</p> <p>④アいろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。 イ相手との間合いを工夫しながら練習している。</p>	<p>①ア対人的技能の練習をしている。</p> <p>②ア試合において宣告している。 イ試合において判定している。</p> <p>③ア相手に対して打突している。 イ相手の打突に合わせて打突している。</p> <p>④ア竹刀の振り方を確認しながら練習している。 イ正しい構えで練習している。</p>
III 運動の技能	<p>①アすり足による打ち込みで、打突・足の引きつけ・発声が同時にでき、力強く打突することができる。 イ踏み込み足による打ち込みで、打突・足の踏み込み・発声が同時にでき、力強く打突することができる。</p> <p>②ア自分の技能や体格を考慮して応じ技の練習することができる。 イ約束練習で応じ技を正確に打突することができる。</p> <p>③ア相手の動きや考えを予測ししかけ技を出すことができる。 イ相手の動きを引き出して応じ技を出すことができる。</p>	<p>①アすり足による打ち込みで、打突・足の引きつけ・発声が同時にできる。 イ踏み込み足による打ち込みで、打突・足の踏み込み・発声が同時にできる。</p> <p>②ア自分の技能や体格を考慮して応じ技を選択し、練習することができる。 イ約束練習で選択した応じ技を正確に打突することができる。</p> <p>③ア相手の動きを予測ししかけ技を出すことができる。 イ相手の動きを見て応じ技を出すことができる。</p>	<p>①アすり足による打ち込みができる。 イ踏み込み足による打ち込みができる。</p> <p>②ア応じ技を選択し、練習することができる。 イ約束練習で選択した応じ技を打突することができる。</p> <p>③アしかけ技を出すことができる。 イ応じ技を出すことができる。</p>
IV 知識・理解	<p>①ア剣道の特性について十分に理解しており、言ったり書いたりできる。 イ対人的技能の仕組みについて十分に理解しており、言ったり書いたりできる。</p> <p>②アすすんでくふうして試合の運営ができる。 イ審判法を理解しており、試合者の状態を考え、正しい判定をすることができる。</p> <p>③ア自分の課題にあった練習計画を立て工夫して練習する。 イ自分の能力に方法を選択し積極的に試合をしている。</p> <p>④ア剣道の礼儀作法について十分に理解しており、言ったり書いたりできる。 イ剣道の礼儀作法について実践し、説明ができる。</p>	<p>①ア剣道の特性について言ったり書いたりできる。 イ対人的技能の仕組みについて言ったり書いたりできる。</p> <p>②アすすんで試合の運営ができる。 イ審判法を理解しており、正しい判定をすることができる。</p> <p>③ア自分の課題にあった練習計画を立てている。 イ自分の能力にあった試合方法を選択している。</p> <p>④ア剣道の礼儀作法について言ったり書いたりできる。 イ剣道の礼儀作法について実践している。</p>	<p>①ア剣道の特性について学習している。 イ対人的技能の仕組みについて学習している。</p> <p>②ア試合の運営をしている。 イ審判ができる。</p> <p>③ア練習計画を立てている。 イ試合方法を選択している。</p> <p>④ア剣道の礼儀作法について学習している。 イ剣道の礼儀作法について実践しようとしている。</p>

5 指導と評価の計画例「武道(剣道)」 < 2年生(15時間)>

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の辨・方法	学習活動における評価の観点
はじめ (1時間)	(1) 剣道の特性や学習の仕方を理解する。 (2) 礼儀作法や安全に行うための練習方法を理解する。	Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅰ―④ 学習ノート	・剣道の伝統的な考え方や特性，基本動作や対人的技能の構造を理解しようとする。 ・礼儀作法を理解しようとする。 ・安全に行うための留意点を理解しようとする。
なか1 (4時間)	ねらい1 (今ある能力で工夫) (1) 正確な打突をするために工夫して練習する。 (2) 得意技を見つけ，効果的な練習をする。 (3) 相手と協力しながら，技能の向上を図る。 (4) 安全に行えるように，防具の着装や竹刀の破損を確認する。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―② 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・正確に打突するために，工夫して練習しようとする。 ・打突，体勢，発声のタイミングを合わせようとする。 ・得意技を発見し，相手とのかけひきの中で練習している。 ・基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。 ・安全に練習を行うために気を配っている。
なか2 (4時間)	ねらい2 (高まった能力に合わせて) (1) 習得した技から，能力に合った得意技を見つけて練習する。 (2) 相手とのかけひきの中で得意技を練習する。 (3) 剣道における礼儀作法を守って練習する。 (4) 試合を通して課題の解決を図る。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅰ―③ 学習ノート Ⅱ―③ 行動観察 Ⅱ―① 実技テスト Ⅳ―④ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート Ⅱ―② 行動観察	・自己の能力に適した技の中から，得意技を見つけることができる。 ・練習の成果を参考に次の課題を見つけて出そうとしている。 ・相手の状況に応じて，効果的な打突をしている。 ・基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。 ・礼儀作法について理解し，実践している。 ・剣道に興味や関心があり，積極的に課題を解決しようとしている。 ・試合において，自信を持って判定している。
なか3 (4時間)	ねらい3 (さらに進んだ能力で) (1) 試合の結果から課題を発見する。 (2) 自分にあった練習計画を立てて練習する。 (3) 得意技を使って試合をする。 (4) 審判方法を理解し，公正な態度で審判を行う。	Ⅰ―③ 学習ノート Ⅳ―③ 学習ノート Ⅲ―③ 実技テスト Ⅳ―② 学習ノート 行動観察 Ⅳ―全 小テスト	・試合の結果を参考に次の課題を見つけて出そうとしている。 ・自分の課題にあった練習や試合の仕方，練習計画の立て方を言ったり，書いたりする。 ・相手の状況に応じて，効果的な対応ができる。 ・試合の運営方法を理解しており，基本的な審判ができる。
まとめ (2時間)	自己の学習ノートの記録をてがかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) 剣道に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・試合をしていたか。 (4) 礼儀作法に配慮できたか。

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)	評価結果			備考	
					評価	〇&×	特記事項	評価点	割合 %
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	すすんで課題解決を図ろうとしている。	A	B	C		× 1
		I-②	2	既習の技の中から得意技を見つけている。	A	B	C		× 1
		I-②	3	相手とのかけひきの中で得意技を練習している。	A	B	C		× 1
		I-④	4	防具を正しく装着している。	A	B	C		× 1
		I-④	5	練習前に竹刀の点検をしている。	A	B	C		× 1
	学習ノート	I-①	6	興味・関心をもって学習している。	A	B	C		× 2
		I-③	7	練習や試合の中から新しい課題を発見している。	A	B	C		× 2
		I-④	8	礼儀作法を重視するとともに練習場所の安全に気を配っている。	A	B	C		× 2
合計									25%
II 思考・判断	行動観察・対話	II-①	9	構え、体さばきや竹刀の使い方を確認しながら相手との攻防の練習している。	A	B	C		× 1
		II-②	10	試合において大きな声で宣告している。	A	B	C		× 1
		II-②	11	試合において自信のある態度で判定している。	A	B	C		× 1
		II-③	12	相手の動きを確認して打突している。	A	B	C		× 1
		II-③	13	相手の打突を予想して打突している。	A	B	C		× 1
		II-④	14	いろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。	A	B	C		× 1
	II-④	15	相手との間合いを工夫しながら練習している。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	II-①	16	自己に合って技を選んでいる。	A	B	C		× 2
II-①	17	得意技として身につけるための課題を設定している。	A	B	C		× 2		
合計									25%
III 運動の技能	行動観察	III-①	18	正しく基本動作(構え、体さばき、素振り)を行っている。	A	B	C		× 1
		III-①	19	すり足による打ち込みで打突、体勢、発声が一致している。	A	B	C		× 1
		III-①	20	踏み込みによる打ち込みで打突、体勢、発声が一致している。	A	B	C		× 1
		III-②	21	自分の技能や体格を考慮し得意技を選択して練習している。	A	B	C		× 1
	技能テスト	III-③	22	相手の動きを予測して、タイミングよくしかけ技を出している。	A	B	C		× 1
		III-③	23	相手の動きを見て応じ技を出している。	A	B	C		× 1
		III-③	24	得意技、応じ技を使って試合をし、正確に打突している。	A	B	C		× 2
合計									25%
IV 知識・理解	行動観察	IV-①	25	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	A	B	C		× 1
		IV-②	26	ルール審判法について理解している。	A	B	C		× 1
		IV-②	27	試合の運営方法を理解している。	A	B	C		× 1
		IV-④	28	礼儀作法や自他の安全について理解し実践している。	A	B	C		× 1
	学習ノート	IV-①	29	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	A	B	C		× 1
		IV-②	30	試合の運営方法と基本的な審判法を理解し、正しい判定を行う。	A	B	C		× 1
		IV-③	31	自分の課題にあった計画を立て、能力にあった試合方法を選択する。	A	B	C		× 1
テスト	IV-全	32	小テスト	A	B	C		× 10	
合計									25%
総合計									

総時間数 () 時間 、 欠席時間数 () 時間 、 見学時間 () 時間

特記事項

評価シート 武道(剣道) 2年生(15時間)

総時間数 () 時間, 欠席時間数 () 時間, 見学時間 () 時間

評価観点 評価方法 具体の規準 項目番号	I 関心・意欲・態度								II 思考・判断								III 運動の技能								IV 知識・理解								合計得点				
	行動観察				学習ノート				行動観察				学習ノート				行動観察				技能テスト				行動観察				学習ノート					テスト			
	1-①	1-②	1-③	1-④	1-①	1-②	1-③	1-④	II-①	II-②	II-③	II-④	II-①	II-②	II-③	II-④	III-①	III-②	III-③	III-④	III-①	III-②	III-③	III-④	IV-①	IV-②	IV-③	IV-④	IV-①	IV-②	IV-③	IV-④		IV-全			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32					
観 点 別 評 価 項 目 （ 具 体 例 ）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32					
実施月/日																																					
No.	組・番	氏名																																			
1																																					
2																																					
3																																					
4																																					
5																																					
6																																					
7																																					
8																																					
9																																					
10																																					
11																																					
12																																					
13																																					
14																																					
15																																					
16																																					
17																																					
18																																					
19																																					
20																																					

体育授業 記録シート

年 組			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名()	No.	実施月日	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
			日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
評価項目番号																	
	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	11																
	12																
	13																
	14																
	15																
	16																
	17																
	18																
	19																
	20																
	21																
	22																
	23																
	24																
	25																
	26																
	27																
	28																
	29																
	30																
	31																
	32																
	33																
	34																
	35																
	36																
	37																
	38																
	39																
	40																

観点別評価項目例「武道(剣道)」

2年生 (15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	すすんで課題解決を図ろうとしている。
		I-②	2	既習の技の中から得意技を見つけている。
		I-②	3	相手とのかけひきの中で得意技を練習している。
		I-④	4	防具を正しく装着している。
		I-④	5	練習前に竹刀の点検をしている。
	学習ノート	I-①	6	興味・関心をもって学習している。
		I-③	7	練習や試合の中から新しい課題を発見している。
		I-④	8	礼儀作法を重視するとともに練習場所の安全に気を配っている。

II 思考・判断	行動観察・対話	II-①	9	構え、体さばきや竹刀の使い方を確認しながら相手との攻防の練習している。
		II-②	10	試合において大きな声で宣告している。
		II-②	11	試合において自信のある態度で判定している。
		II-③	12	相手の動きを確認して打突している。
		II-③	13	相手の打突を予想して打突している。
	II-④	14	いろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。	
	II-④	15	相手との間合いを工夫しながら練習している。	
	学習ノート	II-①	16	自己に合って技を選んでいる。
II-①		17	得意技として身につけるための課題を設定している。	

III 運動の技能	行動観察	III-①	18	正しく基本動作(構え、体さばき、素振り)を行っている。
		III-①	19	すり足による打ち込みで打突、体勢、発声が一致している。
		III-①	20	踏み込みによる打ち込みで打突、体勢、発声が一致している。
		III-②	21	自分の技能や体格を考慮し得意技を選択して練習している。
	技能テスト	III-③	22	相手の動きを予測して、タイミングよくしかけ技を出している。
		III-③	23	相手の動きを見て応じ技を出している。
III-③	24	得意技、応じ技を使って試合をし、正確に打突している。		

IV 知識・理解	行動観察	IV-①	25	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。
		IV-②	26	ルール審判法について理解している。
		IV-②	27	試合の運営方法を理解している。
		IV-④	28	礼儀作法や自他の安全について理解し実践している。
	学習ノート	IV-①	29	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。
		IV-②	30	試合の運営方法と基本的な審判法を理解し、正しい判定を行う。
		IV-③	31	自分の課題にあった計画を立て、能力にあった試合方法を選択する。
テスト	IV-全	32	小テスト	

総時間数 () 時間 , 欠席時間数 () 時間 , 見学時間 () 時間